

一般について

2教科選択
前期1日目・2日目／中期1日目・2日目／後期

3教科
(大学のみ)

1教科選択
(短大のみ)

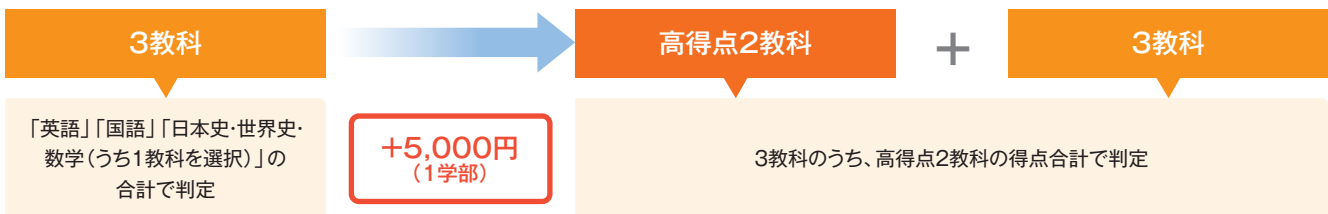
英語1教科
(外国語学部のみ)

総合評価

合格のチャンスを広げよう! (3教科受験者対象)

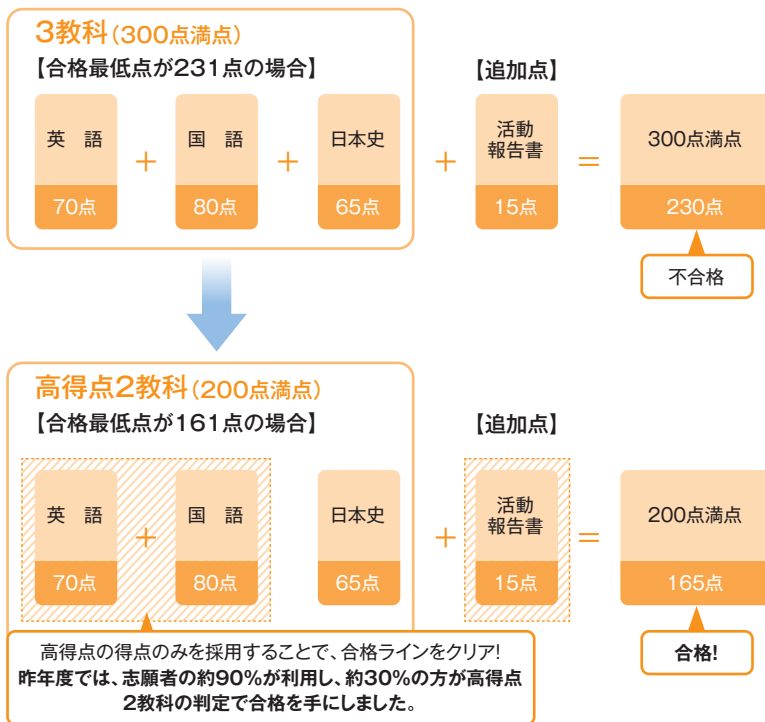
2種類の方法で合否判定が可能

一般(3教科)の受験者は入学検定料に1学部につき5,000円を追加することで、「3教科」と「高得点2教科」の両方の判定方法で受験することができます。



高得点2教科のメリット 得意科目の点数を生かし、合格の可能性がアップします。

例:「英語」「国語」「日本史」を選択した場合



出願資格

次の各項のいずれかに該当する者。

- 1 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および2024年3月卒業見込みの者。
- 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2024年3月修了見込みの者。
- 3 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者。

入学検定料

大学 [1出願] 30,000円 (学部追加 1学部 +5,000円 高得点2教科追加)

※「高得点2教科」は「3教科」で出願している学部の範囲内で出願可能。
※「英語1教科」と「総合評価」は学部併願不可。
※経営学部の経営学科とホスピタリティ経営学科の併願は不可。
※同日程での短大との出願は不可。

短大 30,000円

※同日程での大学との出願は不可。

一般について

活動報告書について(共通テスト利用も同様) ※「英語1教科」は対象外

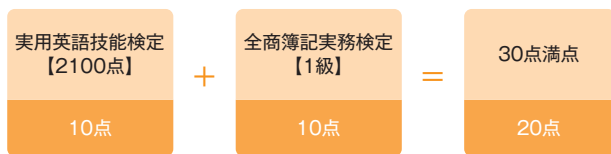
- 提出された活動報告書を加点方式で評価します。なお、評価点の合計が満点(30点)を超えた場合は切り捨てとします。
- 活動報告書における評価点の加点により学科試験の満点を超えた場合は切り捨てとします。
- 語学関連・簿記関連・情報関連の中からそれぞれ加点し、同関連検定からは評価点の高い方を加点します。
- 以下の評価内容に該当していることの証明として、合格証明書等の提出が必要です(コピー可)。
- 活動報告書は、該当する評価項目がある者のみ提出してください。

【評価点について】

評価項目			評価事項		
			15点	10点	5点
資格検定	語学	実用英語技能検定 (日本英語検定協会)	2300点以上	1950~2299点	1700~1949点
		GTEC (4技能) (ベネッセコーポレーション)	1180点以上	930~1179点	680~929点
		TOEIC® L&R+S&W (国際ビジネスコミュニケーション協会)	1560点以上	1150~1555点	625~1145点
		ケンブリッジ英語検定 (ケンブリッジ大学英語検定機構)	160点以上	140~159点	120~139点
		IELTS (ブリティッシュ・カウンシル日本事務局)	5.5点以上	4.0~5.0点	—
		TEAP (日本英語検定協会)	309点以上	225~308点	135~224点
		TEAP CBT (日本英語検定協会)	600点以上	420~595点	235~415点
		TOEFL iBT (CIEE国際教育交換協議会)	72点以上	42~71点	—
	簿記	日商簿記検定 (日本商工会議所)	1級	2級	3級
		全商簿記実務検定 (全国商業高等学校協会)	—	1級	2級
情報	情報処理試験 (情報処理推進機構)	基本情報技術者	ITパスポート	—	
	ICTプロフィシエンシー (ICTプロフィシエンシー検定協会)	—	1級	2級	

※実用英語技能検定(日本英語検定協会)の対象は「従来型」「S-Interview」「S-CBT」のCSEスコアとします。
 ※GTECは4技能のオフィシャルスコアとします。
 ※TOEIC® L&R+S&W(国際ビジネスコミュニケーション協会)については、TOEIC® S&Wのスコアを2.5倍にして合計したスコアとします。
 ※記入・提出方法等の詳細は入学者選抜要項をご確認ください。

【評価点の例】



※合計点が30点を超えた場合は切り捨てとします。